



高校は将来へのキャリアを積む学びの場所

校長 升 田 重 樹

9月30日に美唄中学校の1年生、11月4日に美唄東中学校の2年生が本校へ見学に訪れました。日頃接することのない中学生の輝いた眼差しに、高校生とはまた違う新鮮さを感じました。中学3年生の大半は、これから高校入試を控えています。「15の春」とよく言いますが、本校の生徒達も、ここをあたりまえのように通過して入学してきたのではないのでしょうか。但し、中学から高校進学というのはあたりまえかもしれませんが、高校卒業後の進路選択決定は大きく違ってきます。

今更言うまでもありませんが、高校卒業後は就職と進学に分かれます。一言に就職、進学と言っても、その選択肢は千差万別です。高校生は入学後、早い段階から将来を見据えて学校生活を送らなければなりません。中学校とは比較にならないほど学ぶこと、やらなければならないことが多いということです。現3年次生は振り返って実感しているのではないのでしょうか。

総合学科とキャリア教育（勤労観、職業観を学ぶ教育）は大きく結びつきます。新しい学習指導要領【全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるようにするための基準】には、「特別活動を要として各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」と記されています。要となる特別活動とはなんのでしょうか。これは、「ホームルーム活動」、「生徒会活動」、そして「学校行事」の3つのことです。これからの高校教育の中で、この特別活動が果たす役割は大きいと言われています。これらの3つに積極的に参加することは、自らの人間関係をよりよくし自己実現を図ることに大きく影響します。それが学びと気付きののです。そう考えたらホームルームに遅刻をしたり、授業中にスマホをいじったり、居眠りしたりなどはできませんね。また、新しい生徒会執行委員がスタートしましたが、学校行事の企画・運営をはじめとして、生徒会活動には生徒一人一人の力が必要です。決して人任せにはできません。特別活動は学校や生徒にとっては水や空気のような「特別ではない活動」かもしれませんが、それに臨む姿勢によって、かけがえのない特別な存在になるということです。

先に高校は学ぶこと、やらねばならないことがとても多いと言いました。しかし、いくら学び身に付けたことがたくさんあっても、それを卒業後の将来に活かすことができなければなりません。高校生活の中で日々学び鍛えることは、自らの将来のため。そう言い切れるようになってほしいです。



1年次

11月15日

令和4年度健康事業

性教育講座

美唄市病児保育室 看護師・助産師・思春期保健相談士 荒町恵里子先生、美唄市保健センター 保健師 鈴木沙綾氏・長谷川千夏氏による一年次生に向けた講座が行われました。「命の尊さ」や「自分と他者を大切にすること」、「親への感謝」など、生徒達は様々な感想を述べながら、それぞれの未来へと繋がる学びを深めていました。



2年次

見学旅行

10月24日(月)～28日



10月24日(月)～28日(金)、2年次生が見学旅行に参加しました。

初日は広島へ向かい、原爆ドームや平和記念資料館の見学の他、この日までに全員で作上げた千羽鶴の奉納を行いました。2日目はフェリーで宮島へ渡り、厳島神社を見学後、京都へ移動して清水寺を見学しました。3日目は班ごとに自主研修を行い、それぞれ事前に決めたルートで関西を楽しみました。4日目は大阪へ移動しユニバーサルスタジオジャパンを満喫しました。最終日は大阪自主研修の後、帰路につきました。

道外で友人達と過ごした5日間は、多くの思い出と学びを与えてくれ、生徒達は「たくさんの人の優しさに助けられた」「ただ『楽しかった』だけで終わらせず、今回の経験を今後の学校生活に活かしていきたい」といった感想を口にしていました。

多くの方々の御協力のおかげで、5日間大きな事故や体調不良もなく、予定通り終了することができました。ありがとうございました。



フード系列実習風景より

■11月4日(金) 令和4年度青年新規就農者確保対策事業

■11月16日(水) 令和4年度美唄中央小学校との連携学習

11月4日(金)の午後に、本校を会場として令和4年度青年新規就農者確保対策事業が開催されました。講師として、空知総合振興局よりご紹介を頂きました、空知はつつネットワークの小林睦美様と、東山波奈子様より講演を頂きました。空知の農業と、農のくらしについてをテーマに、女性の視点から農業の良さや、地域の食文化についてお話をされ、参加したフード系列生徒は、日頃の食品製造実習で使用している大豆などの原材料生産等についてのお話を熱心に聞いていました。



11月16日(水)に、令和4年度美唄中央小学校との連携学習があり、児童4年生47名が来校しました。小学校の「総合学習」で行う「ハスカップを使ったお菓子作り」の商品化について、本校のフード系列の生徒が、日頃学習している菓子製造の経験を生かした助言を行いました。小学生がお菓子のアイデアやデザインをタブレットで提案し、その説明を本校の生徒が聞いて、使用食材などをアドバイスしました。小学生はホワイトボードにメモしながら真剣に聞き、販売に向けたコンセプトの構想を練り上げていました。

答え：①かしつ ②そんしつ ③じゅうふく ④けいだい ⑤しょうよう ⑥けねん ⑦そうさい ⑧なこうど ⑨しんちよく ⑩ふほう

やってみよう！受験や適性試験によく出る問題
【漢字の読み】

- ①過失 ②損失 ③重複 ④境内 ⑤従容
⑥懸念 ⑦相殺 ⑧仲人 ⑨進捗 ⑩計報



北海道美唄尚栄高等学校HP
随時更新中！！



保護者体験授業(2021/12/27実施)
YouTube動画です!!
是非ご覧下さい!!